

2015年5月5日

各位

図書館とともだち・鎌倉  
代表 和田 安弘

### 旧鎌倉図書館の保存・活用をもとめる署名へのご協力のお礼と現況報告

全国の皆さまから当会の署名活動にご協力をいただき、ありがとうございました。3月30日に5384筆の署名簿を直接市長に手渡し、4月22日に追加署名726筆を市に提出しました。あわせて6110筆の署名数となりました。

ここで簡単に、これまでの経過と現況を報告させていただきます。

昨年11月下旬に旧鎌倉図書館の建物が取り壊されるという動きを知って、当会は保存・活用をもとめて市や議会に様々な働きかけを行いました。しかし、12月の議会で旧図書館解体のための予算が可決・承認されてしまい、今度は行政執行を止めるという非常に難しい運動に取り組むことになりました。

年が明けて、2月1日にシンポジウム、続けて2月10日に旧図書館見学会を開催し、いずれも短い準備期間にもかかわらず、予想を上回る多くの方が参加してくださいました。

見学会と同日に議会に陳情も行いました。陳情書は解体予算を可決した総務常任委員会に付託されましたが、2月26日の審議で、専門家の意見を聞いたうえで慎重に進めるべきという意向を含んだ「継続」扱いとなりました。

3月4日、2回目の要望書を市長に提出し、12月議会で約束した「市民への丁寧な説明」を具体化するものとして、説明会と見学会の早期実施をもとめました。また、専門家団体からも、20日に横浜歴史資産調査会、23日に日本建築家協会、4月7日に日本図書館文化史研究会から旧図書館の保存・活用をもとめる要望書が出されました。

こうした動きを受けてか、いまのところ市は予算執行を止めています。さらに4月に入り、市より当会に協議の申し入れがあり、その話し合いの結果、5月に上記の横浜歴史資産調査会が旧図書館の建築物としての現況調査を行うことになりました。調査結果によっては、市も旧図書館の解体を見直す可能性が出てきました。

ここまで流れを変えることができたのは、署名活動にご協力をいただいたすべての皆さまのご支援の賜物と感謝しています。

今後は、新しい流れを一層推進するために、保存・活用のための基金づくりを目的にした募金活動にも取り組んでいきたいと考えています。署名活動は終了いたしました。引き続きご支援、ご協力をお願いする次第です。

以上